

Hello! FUJISEI

No. 314

厚生労働省の「平成27年 国民生活基礎調査の概況」によると、世帯主の年齢階級別の1世帯当たり平均所得金額は、「50～59歳」が768万1千円で最も高く、次いで「40～49歳」「30～39歳」となっており、最も低いのは「29歳以下」の365万3千円で、「65歳以上」では、417万9千円となっています。

また、世帯人員1人あたりでは、「50～59歳」が262万4千円で最も高く、最も低いのは「29歳以下」の176万4千円で、「65歳以上」では192万4千円となっています。

各種世帯の所得の種類別1世帯当たり平均所得金額をみると、高齢者世帯では「公的年金・恩給」が67.5%、「稼働所得」が20.3%でした。

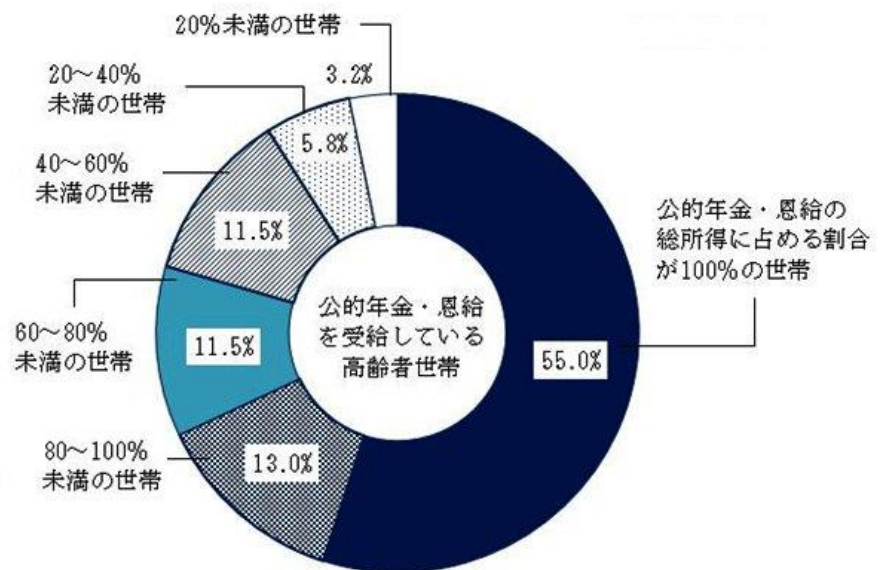
公的年金等を受給している高齢者世帯のなかで「公的年金・恩給の総所得に占める割合が100%の世帯」は55.0%で、半数の世帯が公的年金等だけで生活費をまかっているといます。

なお、高齢者世帯の生活意識は、58.0%が「苦しい」となっています。

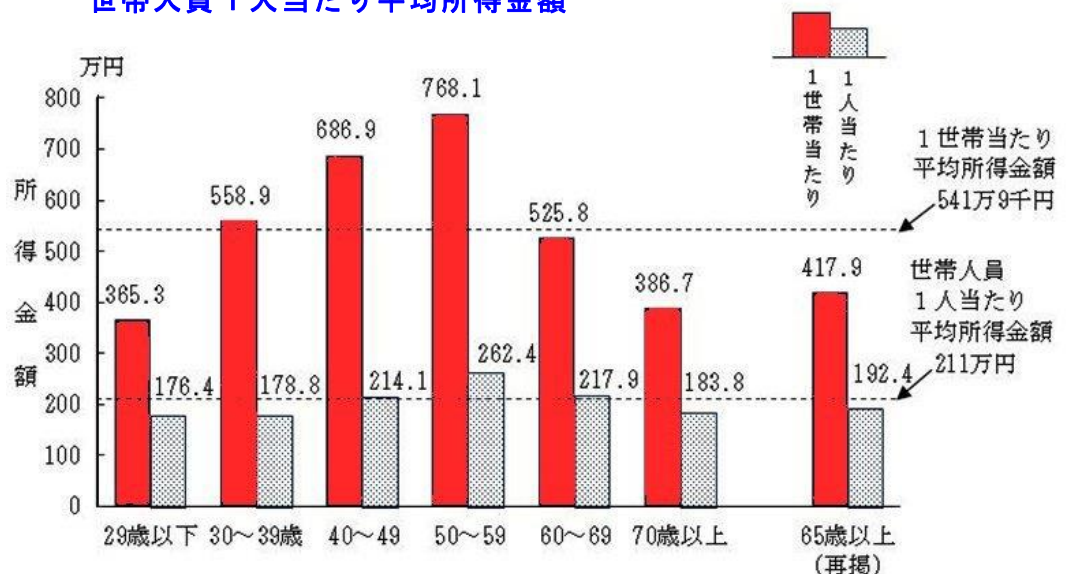
高齢者世帯の収入

公的年金等のみという世帯が55%を占める

公的年金・恩給を受給している高齢者世帯における
公的年金・恩給の総所得に占める割合別世帯数の構成割合



世帯主の年齢階級別に見た1世帯当たり・世帯人員1人当たり平均所得金額



厚生労働省：「平成27年 国民生活基礎調査の概況」

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル